

## 住宅、室内換気について

当然の事ですが、人々は建物の中で暮らします。一般的に生活の9割を建物で過ごし、そのうちの6割は住宅で過ごすと言われています。そこで、大事なのは建物内の空気です。1日の呼吸量は一人平均18~20kg/日であり、水や食料の15倍にもなる量が必要だとされています。特に、子どもは大人に比べ2倍の呼吸数を行うため、常に新鮮な空気を保つことが重要だと思います。

近年、換気が見直されるようになりましたが、2015年頃の統計では、1967年に比べて8~9倍の室内空気質の悪化が顕著になり、子どもの喘息が急激に増加する傾向が見られ、建物の構造、断熱化が進んでも換気が追い付かないことが明らかになり、結露、湿気、カビの発生なども目立つようになりました。これは、我々住宅関連会社が、換気について重要視していなかった結果だと思っています。建物の気密化が進む程に、換気がいかに重要かということは、新型コロナウイルスの家庭内感染でも明らかです。私どもも換気を重視し取り組みを始めたのはまだ10~13年ほどですが、今まで知り得た事をお伝えします。

換気の方法には、窓を開放する「自然換気」と空調設備を

用いた「機械換気」の2種類。自然換気は窓を30分に1回全開にする事が勧められ、室内の2方向に設置された窓を開けることが有効とされています。機械換気は2時間に1回する事が好ましいです。1人当たりの換気量は、1時間につき20立方メートル(≒5.25帖)もしくは30立方メートル(≒8.0帖)以上が求められています。また、換気扇で給気・排気を行う<第1種換気>と、給気は自然の力でして排気は換気扇で行う<第3種換気>がありますが、比較的気密性が低い建物でも、安定した換気が行えるのは<第1種換気>であると思います。冬場の熱ロス考えたとき、換気扇は非熱交換形(普通換気扇)ではなく、全熱交換形換気扇で給気・排気を行い、室内の温度・湿度を保ちつつ換気する事を勧めます。全熱交換形は、冷暖房のエネルギーを最小化させ、湿度調整、花粉やPM2.5の掃除など、最近いろいろな装備が付いています。また、省エネにも貢献します。

■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局  
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)  
☎01654@6711



市の情報を皆さまのスマートフォンなどに直接通知するようLINEでメッセージ配信しています。現在約13,900人の友だち登録をいただいています。

登録はこのコードを  
読み取りください。▶



広報なよろがスマートフォンなどのアプリから閲覧できます。



マチイロ

登録はこのコードを  
読み取りください。▶



株式会社エフエムなよろが運営するコミュニティFM放送「Airてっし」。名寄市を拠点に地域のさまざまな情報をラジオで放送していて、名寄市のお知らせやイベントなど①8:10、②12:30、③17:10の時間帯で放送しています。

ご自宅のテレビで名寄市のお知らせやイベントなどの情報を見ることができる「地デジ広報サービス」。

u h b北海道文化放送(デジタル8ch)のデータ放送で、地デジ広報~市町村情報~から上川総合振興局内の名寄市を選択してください。

市内外の皆さまに名寄市の魅力や認知度を向上させることを目的にYouTubeで動画を発信しています。市内で開催されたイベントなども発信していますので、ぜひご視聴を。

YouTube

視聴はこのコードを  
読み取りください。▶



北国博物館や天文台など各施設で運用するSNSもあります。

詳しくはこのコードを  
読み取ってください。▶



◆問い合わせ  
秘書広報課広報推進係(名寄庁舎3階)  
☎01654@2111 (内線3305、3306)